

## 小中学校統廃合審議会 教職員との意見交換会要旨録

1. 開催日時	平成31年2月21日(木) 16:00~17:30	
2. 場 所	小矢部市総合保健福祉センター大会議室(3階)	
3. 出席委員	教育長職務代理者 教育委員 社会福祉法人小矢部福祉会理事長 (公財)小矢部市体育協会副会長 (公社)小矢部市青年会議所理事長 小矢部市連合婦人会会長 小矢部市PTA連絡協議会会長 小矢部市社会教育委員会議議長 小矢部市PTA連絡協議会副会長 小矢部市女性団体連絡協議会会長 小矢部市商工会会長 東部地区民生委員児童委員協議会会長 社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 小矢部市中学校長会会長 小矢部市小・中学校長会会長 公募委員	古村 正明 佐々木 稲男 西川 康夫 杉澤 弘司 六谷 成伸 飛田 久子 中田 稔 高橋 久雄 高嶋 成幸 嶋田 幸恵 新明 政夫 松本 陽子 日光 久悦 川岸 直紀 笹島 康代 山崎 勇
オブザーバー	富山国際大学子ども育成学部教授	仲井 文之
4. 出席教員	石動小学校教諭 大谷小学校校長 大谷小学校教頭 東部小学校校長 東部小学校教頭 津沢小学校校長 津沢小学校教諭 蟹谷小学校校長 蟹谷小学校教諭 石動中学校教諭 大谷中学校校長 大谷中学校教頭 津沢中学校教諭 蟹谷中学校校長	南 明子 中橋 文夫 水口 淳子 福田 達也 廣瀬 孝子 真栗 一道 山田 由紀子 井澤 清徳 山本 吏 鷹屋 正導 金子 文子 森 由香里 四谷 忠実 沼田 勉

	蟹谷中学校教諭	松井 真一郎
5. 欠席委員	教育委員 教育委員 小矢部市自治会連合会会長 小矢部市自治会連合会代表	石野 昌一 前田 智嗣 川原 久俊 松本 信明
6. 事務局	教育長 事務局長 教育総務課 次長兼課長 課長補佐 指導主事	野澤 敏夫 砂田 克宏 間ヶ数昌浩 瀧田将一郎 吉倉 哲夫
7. 会議次第	(1) 開会挨拶 (2) 経過説明 (3) 意見交換 テーマ 「これからの小矢部市の教育において大切なことと学校のあり方」 ①これからの学校教育で必要と感じていること ②学校と地域との繋がりについて感じていること ③これからの望ましい学校のあり方ー学級人数、学級数ほかー ④自由意見 (4) 閉会挨拶	
8. 開 会	会長挨拶 事務局 会長 教員	<b>【会長挨拶】</b>  (経過説明)  1 これからの学校教育で必要と感じていることについて、ご意見等をお願い致します。  子どもの実態を基にお話しさせていただきたいと思います。 1つ目は、学級編成についてです。A小学校は各学年2学級ありますが、学級編成の際に「もう1学級あったらな」という声が聞かれることがあります。学校には特別支援学級だけでなく、通常の学級にも特別な支援を要する子供たちが多くいる現状があります。その他、生徒指導面で対応が必要な子もいます。子ども達の人間関係を考慮しながら学級編成を行ってい

	<p>ますが、学級編成は、子どもたちにとっても新たな気持ちでスタートできたり、人間関係の固定化も防ぐことができたりしますので、とても良いと思っています。</p> <p>2つ目に、教員数の確保についてです。A小学校は1学年に2学級ありますので、学年の子どもたちを少なくとも2名の教員で見ることが出来ます。子どもたちにとっては1人でも多くの教員の目でみてあげることが望ましいと思っています。学習面では習熟度別の指導ができます。各教員の専門分野のバランスがとれたものになります。教員同士の切磋琢磨も期待できると思っています。</p>
会長	<p>委員の皆様のご意見等ありませんか。</p> <p>1学年単数の学校はどのように感じておられますか。</p>
教員	<p>E小学校は全校児童が100名の各学年単級の学校です。小規模校の実態として良い面と、教員効果について話したいと思います。</p> <p>まず、小規模校の良い面として5点ほど挙げます。</p> <p>1つ目に、1学級の人数が少ないと学習面、生活面においてきめ細かな指導が行いやすいということがあります。</p> <p>2つ目に、学級の枠を超えて子どもの顔が良く分かります。教員が全校児童の顔や名前がわかっているため、いろいろな情報交換が可能です。</p> <p>3つ目に、子ども達が意見を発言する機会や、リーダーの役割を務める機会が多くなるということです。</p> <p>4つ目に、異年齢の活動が行いやすいということです。時間と空間の自由度が高いためだと思います。</p> <p>5つ目に、地域とのかかわりが深く、子どもたちが地域の方に見守られています。また、保護者同士も顔見知りで互いの子どもの顔も知っており、みんなで子どもたちを見守っています。</p> <p>一方、教員効果が上がりにくいと感じている点もあります。次の5点です。</p> <p>1つ目に、クラス替えができず、人間関係が固定化されてしまい、新たな人間関係を築く力を育てにくいと考えます。</p> <p>2つ目に、少人数のため、多様な考え方に触れにくいということです。そのため、価値観が広がりにくいと考えます。</p> <p>3つ目に、学校行事や日々の活動内容において、種類や内容が限定されるということです。</p> <p>4つ目に、単級のため同学年の学級同士で切磋琢磨することがあまりな</p>

	<p>いということです。</p> <p>5つ目に、これは教員側の問題なのですが、教職員の数に余裕がないため出張や休みが重なると学校運営上支障が出るということです。校外での研修に参加したい教員がいても、学校運営上やむを得ず参加できない現状があります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。中学校の部活編制等についてはいかがでしょうか。</p>
教員	<p>A中学校は300人程度の生徒数があります。市内では生徒数が多い方で、部活動は全部で16種類の部活動があります。生徒数が多いため部活動の種類を充実させることができ、生徒たちにとっては選択の幅が広がる利点があります。ただ、A中学校は10年前から見ると生徒数が100人減少しており、部員数が減少し大変だという部もあります。生徒数が増えると、教員数が増えますので副顧問をつけることができます。現在16の部活動がありますが、指導にあたる先生は20名です。1つの部に対し1人の教員が担当しており、負担が大きいと思います。教員数が増えるとより充実した部活動が展開できると考えます。</p>
会長	<p>A中学校は多くの生徒がいる学校でありましたが、他の中学校はいかがのでしょうか。</p>
教員	<p>D中学校は全校生徒が120名余り、1学年が40名程度の学校です。学年によっては、女子が10名余りと男女比が偏っている学年もあります。部活動によっては、女子の部員がほとんどいない部活動があります。柔道部は部員が3名、野球部は1年生が1人しかいません。ホッケー部も女子は3名しかいません。このように団体戦に出場する人数に達していない部がいくつかあります。D中学校の規模の学校ではこの状態がもはや普通になっており、自分達の学校だけではチームを作れない状況です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。生徒指導面での現状はいかがのでしょうか。</p>
教員	<p>A中学校は各学年3クラスありますので、学級単位で切磋琢磨し合うことができます。行事や生徒外活動、委員会活動において充実した活動が展開できています。運動会での応援合戦も生徒の工夫が凝らされた企画実践が見られます。合唱コンクールもクロスランドのメインホールをお借りし</p>

	<p>て開催していますが、コンクールに向けて各クラスで何週間も練習します。それを通してクラスのまとまりや、クラス同士での切磋琢磨が期待できています。生徒たちにとっては充実した学校生活になっていると思います</p>
<p>会長</p>	<p>今お聞きしてきた中で、少人数のメリットもあるけれども、一方で問題を感じておられる面もあるのだと感じます。これから望ましい学校や教育の在り方として、先生方はどのように考えておられますか。</p>
<p>教員</p>	<p>学習指導の面で話したいと思います。現在、市内中学校の中で技術家庭科の教員が揃っているのはA中学校だけです。B中学校は家庭科の教員がおらず、毎年、専門教科以外の教員が指導するための免許外申請を行っています。D中学校は技術、家庭科両方の教員がおらず免許外の担当教員で対応し、C中学校は家庭科、技術、美術の授業を非常勤講師が行っています。生徒の立場から言えば、専門の技術、知識をもった者から教えてもらいたい、保護者の立場からしても専門性の高い教科担任から教えてもらいたいという思いがあると感じています。また、教員数が多いと教科で部会を開き、指導や教材について学校内で情報交換をして教科の専門性を高めることができると考えます。B中学校では、数学の教員は1人です。1人で専門性を高めるのは難しい状況にあると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。委員の皆様、学校現場の意見を聞いていかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今の聞いた範囲内では、ある程度の規模の学校でないとやりにくいのだということを感じました。小学校中学校ともに、児童生徒数が少ないと教科の面、部活動の面において苦勞されていることが分かりました。特にE小学校の話ではクラス替えができない、これは問題だと思います。いじめの問題において、2学級以上あれば学校内で対処できますが、E小学校においては6年間ずっと状況に耐えるか、転校するしかない状況です。小規模校の長所より短所の方が私は気になりました。</p>
<p>会長</p>	<p>次の意見交換に移ります。  「2 学校と地域との繋がりについて感じていること」について、例えばPTAや地域行事、見守り隊、公民館への参加などについていかがでしょうか。</p>

<p>教員</p>	<p>子どもたちと話をしていてスキーの話題がありました。「誰と行ったの」と聞くと「公民館の行事で行った」と答える子どもがいました。全ての地区ではありませんが、ある地区では毎年スキーに行っているようです。また毎月公民館で子どもたちと関わる行事を計画されており、子どもたちもその話を多くします。文化祭へ行くと、子どもの作品が展示されています。学習で公民館の方をお願いしていると、公民館主事の方は子どものこと、家庭のことも良く知っておられます。地域の方に温かく見守られて育てているのだとよく分かります。学校創立 40 周年の行事がありました。その準備の様子をみても地域の方には、学校に熱心に関わっていただいています。ただ、PTA 役員の構成をみると何度も同じ名前が見られることが少し心配です。</p> <p>部活動ではありませんが、スポーツ少年団について話させていただきますと、C 小学校の場合、その校下の子だけで組織されているのはホッケーとサッカーの 2 種目だけです。野球もありましたが人数が足りず、他地区のスポーツ少年団と一緒に活動しています。もちろん、受け皿としては市民体育館まで行けばいろんな学校から集まって活動ができますが、子どもたちだけで行くことは当然できません。親が車を出す必要があります、また、他の学校の子とはやりにくいなど、ハードルが少し高いです。いくつかの選択肢があれば良いなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。地域との密な関わりが分かった一方で、子ども達の人数が少ないことへの懸念があります。他にいかがでしょうか。</p>
<p>教員</p>	<p>小規模校である C 中学校の地域とのつながりについて話します。中学生が公民館活動に出番をいただき地域の一員として参加しています。住民運動会についても役員として参加できないか計画をしています。校外学習についても毎年、各学年が介護施設へボランティア活動に行っています。このような活動も小規模校なので動きやすい、また地域の施設なので協力を得やすいということがあります。また本校は中学校では珍しくクラブ活動があります。華道、茶道、陶芸、手話を地域の方に来ていただき活動しています。地域の方にも生徒と一緒に学びませんか、という案内もしています。この地域密着の良いところを継続していくことが、統合を考える上でも、課題だと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。委員の皆様いかがでしょうか。</p>

委員	<p>私もPTAをやっています。生徒が地域行事に参加し地域との関係を築いている、と言われていましたが、地域の方から「子ども達のあいさつがない」「接することができない子どもたちも増えてきている」と聞いています。今後統廃合となったときに、挨拶の件で見られるように、今でさえ地域から離れている子どもたちがさらに地域から離れてしまうのではないかと心配しています。</p>
教員	<p>先日地域の方に聞いてみたところ、「よくあいさつしているよ」と言われました。昨年度はどうだったかと考えると、そうでもなかったような気がします。どうしてかと考えたときに、直接的な理由ではないと思うのですが、2020年度、小学校新学習指導要領が完全実施になります。大切なポイントは「社会に開かれた教育課程」となっており、教科書の中だけで学ぶのではなく地域に飛び出して学ぶ、ということを奨励しています。市内でも以前からそのような学習をすすめているかと思いますが、本校でも生活科と総合的な学習の時間を中心に地域の関わりの中で学んできました。地域を扱うため、子ども達も知っているようで知らない、そこに住んでいる教員もそんなにいないので、子どもと一緒に探りながら進めていきます。教科書の中ではないので、生きる力を身に付ける教育課程になるにはどの題材が良いのか、そういう風に考えると幅がとても広い教科だと思っています。今年度の学習の中で、本当に追求したいと思った子どもたちはとても力が付くのだと感じました。</p> <p>地域を教材として扱う時にはとても時間がかかり、また自分たちの足で地域を周らなければなりません。本校は1クラス20人前後で2学級あります。人数のわりには各学年2人ずつの担任がいますので、目が行き届くような体制で本年度は学習を進めてきました。子どもたちが力を付けてきていることを教員も実感しました。心配なのは、来年度の新5年生が1クラスになります。大きな人数で動く、また題材を何にするのか、それを1人の教員が抱えなければなりません。2人でなら簡単にできることも1人ですと苦しいので、複数の教員で見ることをしなければいけないのではないかと考えています。今年度は地域の方にたくさん関わっていただけただけで、子どもたちは地域の良さにたくさん触れることができました。このような学習ができるよう教員の数の確保をお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>新しい教育として地域の中へ子ども達を出すときに、先生の数もあるかと思いますが、今年度はどのようにして先生が題材を見つけることができたのでしょうか。</p>

<p>教員</p>	<p>やり方はいろいろあるかと思いますが、1番ありがたかったことは、PTAの方にいろいろと教えていただいたことです。地域にどんな人がいるのか、連絡先などまで教えていただきました。夜高まつりを取り上げたときは、実際に祭に出向き関係者の方へお願いしました。みなさん快く引き受けていただきました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。 次に「3 これからの望ましい学校のあり方」について、こんな教育をしたい、または必要なものなど考えておられることをお尋ねしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>教員</p>	<p>私からは望ましい学級の人数について、また学級数について話したいと思います。 現在の富山県の1学級定員数は、小学校1・2年生の場合は35人以下、3年生は少人数学級か少人数指導かの選択制です。その他の学年は、1学級40人以下となっています。しかし全ての学級において、35人以下の学級になることが多くの教員が願うことだと思います。中には30人以下の学級を願う声もあります。先程からの話を聞いておりましたが、教員が願う学級の人数は20人半ばから30人前後というところだと思います。それくらいの人数が、ある程度の集団の中で子どもたちが発言できる、行動できる力を身に付けることができるのではないかと思います。それから多様な意見にふれることができる、周囲のことを意識しながら言動、行動をすることができると思います。 学級数についてですが、1学年に複数の学級があることが望ましいと思います。複数の学級があれば学級編成ができ、人間関係をリセットできますし、一方で新たな人間関係を築く力を身に付けることができます。教員側で言いますと、複数の目で学年の子ども達を見守ったり指導することができます。それぞれの持ち味で子ども達と関わることも出来ると思います。いろいろな考えに触れること、認め合うこと、協力すること、切磋琢磨するという観点からもある程度の学年規模が望ましいと考えます。子どもたちがとても楽しみにしている、運動会、なわとび大会、かるた大会などの行事も、ある程度の集団になるといろいろな活動が可能になります。  ありがとうございました。学校運営のことについて、いかがでしょうか。</p>
<p>会長</p>	



<p>教員</p>	<p>B中学校は現在各学年3学級あります。過去に1学年に4学級あった時にも勤務していました。状況を比べてみますと、各学年4学級あったときは学年の中で学習指導を担当する教員、生徒指導を担当する教員という風に、チームで子どもたちを指導することができたと思います。また、チームの中で教員同士が学びあう、育ちあうことができていた。学年スタッフとして子どもたちに接することで、生徒も多様な大人のモデルに触れることができたと思います。これは思春期の子どもたちにとっては良い効果があったのではないかと思います。現在は学年スタッフ3人で運営していますが、学年の中で育ちあうというより管理職からサポートしていかなければいけないと感じています。このことから学級数がある程度あると、教員同士が育ちあうことができる、また子どもたちも多様な大人に触れることができるというメリットがあると考えております。</p>
<p>教員</p>	<p>私たちは今ある学校を愛して、地域の皆様に協力いただいて学校を運営しています。地域と学校のつながりと言えば小矢部市は最先端を行っていると思います。こんなに地域密着で学校を愛していただき、子どもたちを地域ぐるみで育てていただいているところはないと思います。</p> <p>いろんな角度から意見をという話がありましたが、このようにメリットもたくさんありますが、デメリットをどのようにして解消していくかが教育の役割の一つかと考えています。小矢部市の教育のデメリットを何とか解消したいという思いがあります。</p> <p>また、市内の中学校は4校ともに建設してから30年を超えています。今日はこれからの教育というテーマですが、社会の変化と共にプログラミングや英語教育など現代の教育に30年前の建物では対応できていません。また施設設備の老朽化もあります。この前は放送設備が止まり、大変困りました。業者に見積もりを取りましたら、数百万円かかると言われました。抜本的な対策が必要だと感じています。学校の劣化ということも頭に入れていただければと思います。</p> <p>たくさんのメリットもありますが、これからの教育のデメリットをどう解消していくかということが必要だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、地域と学校のつながりは、統廃合のつながりとは別の問題だと考えています。地域との関わりについて学校と地域とがつながっており、協力いただいているという話がありましたが、その関わり具合は地区によっていろいろ差があるということ、また担い手も高齢化していると聞いています。また、今後、保育所が統廃合になることで、保育所と地域との関わ</p>

<p>委員</p>	<p>り方も変わってくると思います。</p> <p>もう一つ、私たちが消防や食生活改善などで学校に行くということに対しての受入が少ないのではないかと感じているということをお伝えしておきたいと思います。</p> <p>小矢部市に住む約 2,000 人の児童生徒のために先生方が熱心に関わっておられることがわかり大変うれしく思っています。私からは 3 点ほど申し上げたいと思います。</p> <p>1 つ目に、いじめの問題です。クラス替えがないといじめが 3 年、6 年続くのではと言われましたが、クラス替えをするだけで果たしていじめをなくすることができるのでしょうか。クラス替えは一つの方法かもしれませんが、いじめに早期に気づき、目を摘み、良い方向へ対処していくことが必要で、真に解決を目指すためにはクラス替えではないような気がいたします。</p> <p>2 つ目に、地域との関わりについてです。E 小学校では見守り隊への感謝の集いというものがあります。子どもたちが歌を歌ってくれるのですが、とても感動しました。地域の学校という感覚がしっかりと感じられます。</p> <p>3 つ目に、総括的な話になりますが、魚津市に視察に行ったときに、現在の学校に統合される前の旧村単位の小学校がまだ残っていた印象があります。氷見市にもありました。小矢部市は一度統廃合をして B 小学校や C 小学校を作っており、魚津市などの統廃合とは少し異なるのではないかと考えています。今統廃合しても、人数が少ないのでまた統廃合ということは避けるべきと考えます。全校が複式学級、全校で 3 クラスというくらいになるまでは先生方には負担を減らしながら子ども達に何が良いかという立場で考えるということも大事だと思います。日本の学校は複式学級から始まったという説もあります。少人数が教育では全てマイナスだと結論付けられていると思いませんし、条件さえ整えば克服できることだと思います。小矢部市の現状ですぐ統廃合が必要とは言えないと思っています。</p> <p>いじめとクラス数の関係については、いかがですか。</p> <p>いじめと学級数について、私の認識をお話させていただきます。</p> <p>小矢部市の学校では子供同士の人間関係や家庭関係についてきめ細かに変化を見ていただいていると感じています。小矢部市では「重大事態」という事案が発生していないのはそのおかげであると思っています。</p> <p>人間は成長の過程で自分以外の人間に対しいろんな感情を持つことは有</p>
<p>会長 教育長</p>	

り得ることです。何もしなければいじめが無くなるということではなく、しっかりと子どもたちの人間関係を見つめ続けていくことが大事であり、いじめは単にクラス替えをもって解決できるような単純なものではないと当然思っています。いじめの対応＝複数学級という訳ではありませんが、先程の先生方の話にありましたように、人間関係のある程度リセットできるような関係が、いじめる側、いじめられる側双方の間にあれば、クラス替えは良好な作用を生むと考えます。

複数学級となっていることは、いじめ解消という一面的な視点からだけでなく、子どもたちにとって、より切磋琢磨できる、新しい友達を作れる、そんな多面的な観点から考えることが大事であると思います。

ありがとうございました。

これからの教育については、小中一貫校などいろんな教育の在り方があると思います。これについてはどう思っておられますか。

会長

小矢部市は今、小中の連携に一生懸命取り組んでいます。普段の授業の中でもお互いの校区の学校で行き来したり、研修を共にするなど縦の繋がりを作っています。また、小学校同士、中学校同士の横の繋がりについても共に研修をするなどしています。小中連携がクローズアップされていますが、私たちも意識しながら取り組んでいる現状があります。

教員

過去に教員だった時、学校内にクラブを作ろうとしても子供がいなくて作れないことを経験しました。子どもの時代にいろんな体験をさせることはとても大事だと思っています。子ども同士が関わり合って学びあうことも必要です。例えば、放課後児童クラブで指導員が宿題をさせようとしてもなかなか難しかったのですが、子ども同士で関わらせるとさっと終わることがあります。多様な子ども達の中でお互いに育ちあうこと、多様な先生が子どもに関わることはとても重要だと思います。いじめにあっても、誰か1人の先生に認められている、または誰か1人友達がいると救われて楽しい学校生活を送ることができます。

委員

地域とのつながりで言えば、小規模校と地域はそれなりに繋がりがあり、大規模校では繋がりが無いということはありません。絶対何らかの地域社会との関わりが無ければ学校経営はできませんので、それなりの素晴らしい繋がりがあります。私は、ある程度の学級数があったほうが環境として良いと思います。

	<p>まずは子どもにとって1番良いことを考えてやれば結果が付いてくるのではないかと思っています。</p> <p>1番問題になってくると思っているのは、地域との繋がりだと思っています。昨年度末から高岡地区の統廃合がシリーズでずっと新聞に出ていましたが、その記事を見ても統廃合の話を滞らせているのはやはり地域の意見なのだと感じます。今後統廃合をしたときに、地域との繋がりをどう考えていくのが大変な部分だと思います。</p> <p>先程からC小学校、C中学校の話聞いていましたら、小規模な方が地域との繋がりが深いという考えが強いように感じましたが、一方で「こんなにも地域密着で地域からの協力をいただいているのは、今まで回った学校の中で1番です」と言われたように、A中学校の規模でも地域との繋がりはできるのだと思います。</p> <p>公民館活動にしても、統廃合をして学校が1つになったら各公民館がこれまでと同じ関わり方をしなくなるのでしょうか。自分たちの近くに学校があるので、子ども達の面倒を見ているということなのではないでしょうか。公民館は11ありますが、仮に学校が1つになり学校から近い公民館が子ども達と関わりをもったという理由で、他の公民館が地元の子供達との関わりをなくすことは無いのではないかと思います。統廃合によって学校が無くなっても、近くに子どもたちがいれば公民館の皆さんは面倒をみてくれるのではないかと思います。</p>
委員	<p>どの公民館も、地区の人だけを受け入れている訳ではありません。埴生公民館には福光や他にも遠方から来ている方もおられます。小矢部市立の公民館という視点でやっており、地区以外の方も受け入れしているということをお伝えしたいと思います。</p> <p>また、人口減少、児童数の減少によりイベント等もやりにくくなったことから、幅広い考え方で、隣接の公民館と一緒に連携をとって臨機応変に活動して欲しいと言われていています。実際、埴生公民館は、東蟹谷公民館や南谷公民館、石動中央公民館と連携をとっているということも頭の隅に入れておいていただければと思います。</p>
会長	<p>本日の総括として話します。小矢部市の実態、学校と地域との関係、小中の縦の連携だけではなく横の連携についても話を聞かせていただき心強く感じました。その中で、多様な人との関わりをもたせることが子ども達のためになるという共通認識があったのではないかと思います。貴重なご意見を聞かせていただいたことを今後の協議に生かしてまいりたいと思</p>

閉会挨拶 教育長	<p>います。ありがとうございました。</p> <p>本日はありがとうございました。これまでいろいろな観点から資料を見て検討を重ね、県内視察もいたしました。いよいよ今日から本論に入っていく段階になったのではないかと感じています。小矢部市の子ども達の学習の場について、どういう場が最も素晴らしいのか、具体論を積み上げていく段階に入りました。今日は現場の先生方から生の意見を聞くことができたことが、この審議会にとって大切な示唆を得る機会になったのではないかと思います。仲井会長のもと、審議会全員のみなさんでこれからまた議論を積んでいただき、11月の答申に向けて進めていただきたく思います。本日はありがとうございました。</p> <p><b>【閉会】</b></p>
-------------	--